

7 卷末資料

協議会

学 識	会 長	溝上 章志 (熊本大学大学院自然科学研究科教授)
	副会長	羽藤 英二 (東京大学大学院工学系研究科教授)
	顧問	黒川 洸 (一般財団法人計量計画研究所代表理事)
国	委 員	国土交通省九州地方整備局企画部広域計画課長
		国土交通省九州地方整備局道路部道路計画第二課長
		国土交通省九州地方整備局熊本河川国道事務所長
		国土交通省九州運輸局熊本運輸支局長
県		熊本県企画振興部交通政策・情報局長
		熊本県土木部道路都市局長
		熊本県警察本部交通部長
市		熊本市都市建設局長
		熊本市理事
		熊本市交通事業管理者
その他		九州旅客鉄道株式会社総合企画本部経営企画部担当部長
		一般社団法人熊本県バス協会専務理事
	熊本経済同友会 (都市圏戦略委員会)	
	熊本商工会議所議員	
オブザーバー		関係市町村代表 (嘉島町長)
		国土交通省都市局都市計画課都市計画調査室長

幹事会

学 識	幹事長	柿本 竜治 (熊本大学大学院自然科学研究科教授)
	幹 事	宇野 史郎 (熊本学園大学商学部教授)
		円山 琢也 (熊本大学政策創造研究教育センター准教授)
		天本 徳浩 (崇城大学工学部エコデザイン学科准教授)
		梶田 佳孝 (東海大学工学部土木工学科准教授)
		星野 裕司 (熊本大学大学院自然科学研究科 (工学系) 准教授)
		橋本 淳也 (熊本高等専門学校建築社会デザイン工学科准教授)
		藤見 俊夫 (熊本大学大学院自然科学研究科准教授)
国		国土交通省九州地方整備局企画部広域計画課課長補佐
		国土交通省九州地方整備局道路部道路計画第二課課長補佐
		国土交通省九州地方整備局熊本河川国道事務所調査第二課長
		国土交通省九州運輸局熊本運輸支局首席運輸企画専門官
県		熊本県企画振興部企画課長
	熊本県企画振興部交通政策・情報局交通政策課長	
	熊本県土木部道路都市局道路整備課長	
	熊本県土木部道路都市局都市計画課長	
市	熊本県警察本部交通部交通規制課長	
	熊本市市長政策総室長	
	熊本市都市建設局総括審議員	
	熊本市都市建設局交通政策総室長	
	熊本市都市建設局次長 (土木担当)	
	熊本市都市建設局次長 (建築担当)	
市町村	熊本市交通局首席審議員	
	菊陽町総合政策課長	
	益城町都市計画課長	
その他	宇土市建設部都市整備課長	
	九州旅客鉄道株式会社総合企画本部経営企画部副課長	
	一般社団法人熊本県バス協会乗合バス業務委員会委員長	
	熊本経済同友会事務局長	
		熊本商工会議所事務局長

用語集

ア	ITS	情報通信技術（バスロケーションシステム、公共車両優先信号（PTPS）など）を用いて、交通渋滞などの交通問題の解決を目的に構築する新しい交通システムのこと。Intelligent Transport Systems の略。
	朝ピーク時	通勤・通学目的による交通需要の多い時間帯のこと。
	OD表	地域を区分し（ゾーン）、各ゾーンから発生する交通量がどのゾーンを着地とするかを表形式にまとめたもの。Oは、起点（origin）、Dは終点（destination）を指す。
カ	既存ストック	これまでに整備された道路・街路、鉄軌道、河川、上下水道などの基盤施設や公共施設、建築物等の都市施設のこと。
	現況再現値	現況の交通量を計算により再現したもの。
	公共車両優先信号（PTPS）	信号交差点において、バスなどの公共車両が進行する方向の信号を優先的に青にすることにより、公共車両を優先的に走行させる仕組みのこと。PTPS は、Public Transportation Priority System の略。
	交通インフラ	インフラとは、基盤を意味するインフラストラクチャ（infrastructure）の略で、交通インフラとは、交通基盤である道路・街路、鉄軌道などを指す。
	交通モード	自動車、バス、鉄軌道、自転車、徒歩などの交通手段のこと。
	コミュニティ交通	公共交通が不便な地域において、生活の利便性向上や交通弱者の移動手段確保を目的とする交通手段のこと。
サ	将来推計値	特定の交通条件での将来の交通量を計算により予測推計したもの。
	趨勢型人口配置	近年の国勢調査から分かる出生・死亡数や社会移動数の状況をもとに推計した地域毎の将来人口のこと。
	ゾーン	地域ごとの交通実態を把握するために地域を区分したもの。
	ゾーンシステム	鉄軌道やバスを幹線、バスやコミュニティ交通などを支線に位置づけ、幹線・支線の連携強化、交通結節機能や利便性等の向上を図り、多様な交通手段の連携による持続可能な公共交通ネットワークを構築するための交通システムのこと。
タ	第1当事者	交通事故に関与した車両等（自転車を含む。）の運転者または歩行者のうち、この事故における過失の重いものをいい、過失が同程度の場合には負傷程度が軽いものをいう。
	代表交通手段	1つのトリップでいくつかの交通手段を乗り換えた場合、その中の主な交通手段を代表交通手段という。交通手段の優先順位は、鉄道、バス、自動車、二輪車、徒歩の順としている。
	中活エリア	2期熊本市中心市街地活性化基本計画（熊本地区）において位置付けられる、熊本城や市役所周辺から熊本駅に至る約415ヘクタールのエリアのこと。
	超高齢社会	総人口に対して65歳以上の高齢者人口が占める割合（高齢化率）が、世界保健機構（WHO）や国連で定義されている21%を超える社会のこと。

用語集

タ	低未利用地	既成市街地内の更地（さらち）や有効に利用されていない土地、使用目的が明確でない空地（くうち）など、本来、その土地に期待される利用がなされていない土地のこと。
	都市計画区域	自然的・社会的条件、人口、産業、土地利用、交通量等の現況とその推移を考慮して、一体の都市として、総合的に整備し、開発し及び保全する必要がある区域として指定された区域。
	都市計画道路	都市における円滑な移動や沿道アクセスを確保する交通機能のほか、都市防災機能、都市環境形成機能、収容空間機能、市街地形成機能を有し、安全で快適な都市生活と機能的な都市活動に寄与することを目的として都市計画に定める道路のこと。
	トリップ	人がある地点から他の地点へ目的を持って移動すること。トリップを交通目的の内容により区分するとき目的トリップと称し、交通手段により区分するとき手段トリップと呼ぶ。
ハ	パーク・アンド・ライド	自分自身が自家用車を運転し、駅などの周辺に駐車して公共交通機関に乗り継ぐ方式を「パーク・アンド・ライド」、自家用車の代わりに自転車を利用する場合を「サイクル・アンド・ライド」という。また、自分以外の人が運転する自家用車で送ってもらい乗り継ぐ方式を「キス・アンド・ライド」という。
	バリアフリー	高齢者や障がい者の行動・生活上の障害を取り除くための施策もしくは取り除いた環境のこと。バスや鉄道の車両、歩道等において、段差、階段、出入口、通路などが配慮の対象となる。
	ビッグデータ	インターネットの普及や、コンピューターの処理速度の向上などに伴い生成される、大容量のデジタルデータのこと。交通系のビッグデータとはICカード、カーナビや携帯電話のGPS機能の活用により得られる人や車の流れに関する膨大なデータのこと。
	フィーダーバス	支線バスとも称するもので、交通網において幹線との接続を担うために運行される路線バスのこと。
マ	メッシュ（メッシュデータ）	地域を格子状に区切った単位で、その範囲において人口、土地利用、交通量などの各種情報データを整理したもの。
	モータリゼーション	道路施設の充実や自家用車の普及により移動手段として自家用車の利用が日常化されること。
	モビリティ	移動性や動きやすさのこと。
ラ	連携中枢都市圏構想	人口減少・少子高齢社会にあっても、住民が安心して快適な暮らしを営んでいけるようにするため、相当の規模と中核性を備える圏域の中心都市が近隣の市町村と連携し、活力ある社会経済を維持するための拠点を形成することを目的とした構想のこと。
	ロケーションシステム	市電やバスの利用者が、運行状況や車両の接近などの情報を携帯電話・パソコン・電子掲示板などで確認することができる仕組みのこと。